

ぽっかぽか

R8. 7. 22

園長だより NO.3

富士市立天間幼稚園



幼児期の算数とは？

天間幼稚園では、地域の畑のボランティア、ジャムおじさんのご協力のもと、5月に植えた夏野菜がたくさん実りました。

年長児のグループリーダーが、毎朝、野菜の収穫をしていました。美味しく育った野菜を見分けて、ハサミを使って採り、採れた数を数えて、決められた時間までにクラスに戻って報告をします。

この一つの活動の中で、こどもたちは、

- ①野菜の生長を見抜く力
- ②ハサミを上手く扱う力
- ③野菜の数を数える力
- ④見通しをもって時間までに遂行する力
- ⑤その日のリーダーとしての責任と報告の力 が必要になります。

誰もが、完璧にできるわけではありません。友達同士で声を掛け合い、グループによっては、時にはもめたりしながら、やっています。数を数えている様子を覗いてみると…



- ・（友達と同時に数えはじめて）これじゃあ混ざってわかんないよ。
- ・たくさん過ぎる～。いっばいだから「たくさん」って言おうよ…。
- ・待って。もう一度数えてみるからっ！
- ・数を覚えていられるかなあ…。
- ・ピーマンは僕が数えるから、キュウリを数えて！
- ・数えたものをかごから出して手に持っている子、並べて数える子、かごから一度全部出してから、かごに戻しながら数える子…いろいろです。

さすがに20個、30個を超えてくると数がとんだりしてあやふやになってきます。教師としては、（10の束にすれば…）…という言葉でぐっと飲み込み、（いや、さっきそれ数えたよ）と言いたくなる気持ちをぐっとこらえてこどもたちを見守ります。正しくても正しくなくても、こどもたちが必要感をもってやりとりする過程を大事にしたいからです。

幼児期に日常生活の中で経験として数の感覚を養うこと（インフォーマル算数といいます。）が、のちの学校教育の算数の土台になっていきます。

明日から夏休みに入りますが、お家でも、たくさんの身の回りにある「数の感覚」を大事に過ごしてほしいと思います。特に、幼稚園では、なかなかできなかったことがあります。それは…。

『おやつをみんなで分けてみよう。（どうやって分けたらよいか？）』ということです。おやつを切り分けたり、数を数えながら配分して分けたりすること…。幼稚園ではみな平等に個包装のものを食べる機会が多いので、お家ならではののおやつタイムにぜひ、いろいろ、こどもに考える機会を作ってみてほしいと思います。皆さま、楽しい夏休みをお過ごしください。